

らんぷあんどらざニュース

2019年度第3号

2019年8月



発行責任者：安藤 壽子

NPO法人らんぷあんどらざ

〒212-0012 川崎市幸区鹿島田 2-22-33

新川崎駅前ビル 2F

Tel: 044-201-9086

E-mail: info@npo-lenfantplaza.com

URL: <http://www.npo-lenfantplaza.com>

イブニングセミナー開催

7月に新川崎駅前ビルに移転しましたが、これを記念し、7月23日にイブニングセミナーが開催されました。川崎、横浜、東京方面から、子ども達の発達の問題にかかわる多くの専門家の方々にお集まりいただき、お陰様で盛会に終わりました。

海外の学会やセミナーなどでは、お茶を囲んで参加者が集うコーナーが設けられますが、今回のセミナーも参加者がお互いに会話できるよう、手作りクッキーとお茶でのおもてなしを考えました。

今回の内容は以下の通りです。10月には指導者・支援者のための専門セミナーを企画しています。子ども達が毎日を豊かに過ごすことができるよう、理論と実践を備えた専門家の皆様とともに学んでいきたいと考えています。

- ・セミナー1：支援を要する子どもの心の発達を考える 酒井道子（公認心理師・当法人理事）
- ・セミナー2：支援を要する子どもの多様な学びを考える 安藤壽子（教育学博士・当法人理事長）

夏のイベント

★品川理事による「英語集中講座」

8月2・3・4日の3日間、行われました。アルファベットから会話まで、お子様の実態に合わせての個別指導です。時間は60分、90分、120分から選択し、60分/7,000円+税となっています。好評ですので、秋にも開催します。

⇒9月14日、15日 締め切り間近となっておりますので、お早めにお申し込みください。

★リコーダー入門「カントリーロードが吹けるようになろう♪」

7月24日、8月25日の2回開催されました。丁寧な個別指導で一曲吹けるようになることで、苦手意識がなくなり音楽の時間が楽しくなることと思います。

★積み木スタンプ（ワークショップ）

8月22日、アートコミュニケーションをご指導いただいているアーティスト榎田拓哉氏によるワークショップを開催しました。大人も子どもも一緒に楽しい時間を過ごしました。

榎田先生の活動は以下のURLでご覧になれます。

※こどものにわ http://www.codomononiwa.com/about_us.html

※都城図書館 http://mallmall.info/images/mall_pamphlet.pdf

クッキング&アート

7月21日にクッキング&アートのイベントがありました！一日中、子どもたちの笑顔と過ごせて、私たち大人もとても楽しかったです。そして、久しぶりに飲んだ炭酸ジュースがとてもおいしかったです（笑）。

午前中は、自己紹介とゲームをしました。ほとんどが初対面のメンバーで最初は緊張している子もいましたが、徐々に打ち解けていきました。ゲームはSST（ソーシャルスキルトレーニング）を踏まえた内容で、それぞれに狙いがありました。ルールを理解して守ること、人前で話すこと、他の人の話を聞くこと、協力すること、自分の行動を意識的にコントロールすること、聞く・伝えるを意識して人と接すること、など盛り沢山の狙いを設定していました。もちろん、子どもたちが楽しいことが大前提です。らんぷあんどらざの信条は、「大人が注意しないで、子どもが自発的に自然と狙い通り社会的行動を取るようになる」ことです。もちろんこの日も大人数でしたが、この信条のもと実施しました。子どもたちは素直ですね！ゲームを遂行するために、人の話を聞き、折り合い、協力し合うようになっていきます。また、もっと上手くできるように作戦会議をし始めたり、ヒントを出し合う様子がありました。

クッキングは『カップ寿司』を作りました。透明のコップにご飯と具を重ねていくインスタ映え100%のお寿司です。写真は安藤先生のカップ寿司です。インスタ映えてますね。子どもたちも終始ニコニコで作っていました。クッキングもSSTの場です。ミッションは与えられた具の量を上手に分け合うことです。好きな具もあれば嫌いな具もあり、どのように分け合うのか…子どもたちは考えました。「これいる？」「これいい？」と自然と声を掛け合っていたのです！素晴らしい！具材が余ってしまうと廃棄になってしまうので、「食べてくれる人ー！」と声をかけると積極的にもらってくれる子もいました。本当にありがとう！そんな風にやり取りしていました。



午後はアート、陶芸です。先生の丁寧な説明をみんなよく聞いていました。写真はそのときの真剣な背中です。そのあとは、それぞれの机に分かれました。前回も参加した人は、作りたいもののイメージが固まっていたらしく、黙々と作り始めます。わからない人は、適宜スタッフのフォローを受けて作っていました。みんな大満足の出来で、完成が楽しみです。（大橋すみれ）

